有明工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	工業英語

科目基礎情報

科目番号	0044	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	前期:1
教科書/教材	配布資料（参考資料：機械を説明する英語；野澤義延／工業調査会 他）		
担当教員	篠崎 烈		

到達目標

1．これまでに学習した技術用語を理解し，適切な英語による理解ができる.
2．専門分野に関する外国語の技術的な文章を読解して，内容を理解することができる.
3．技術的内容の説明を，英語で技術用語を交えながら行なうことができる.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	技術的な用語について，英語による表記や理解が的確にできる.	技術的な用語を知り，英語を交えた表記ができる.	技術的用語の知識を有しておらず，英語表現ができない.
評価項目2	専門分野の文章を読解でき，技術用語を入れて的確に説明できる.	専門用語以外の文章の理解ができ，概要を説明できる.	専門用語を含めた文章が理解できず，説明できない.
評価項目3	説明したい事柄を，技術用語を用いて英語で適切に説明できる.	説明する事柄を，技術英語を用いた表現で考えることができる.	説明する内容を理解できず，英語による表現ができない.

学科の到達目標項目との関係

学習教育到達目標 A-3 学習教育到達目標 B-2

教育方法等

概要	各時間の講義で内容を説明し，講義内で内容をまとめて提出する.
授業の進め方・方法	配布されたレポートについて講義時間内で内容を理解する．日頃の積み重ねも含めて，復習を中心とした勉強を行なう. グループワークおよび個人学習による講義を実施する.
注意点	技術用語は辞書にない場合が多いので，一般英語は十分に理解しておく.

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンスと基礎説明	講義の概要と基礎内容を理解できる.
		2週	技術表現1	英語の技術用語を用い，内容を説明できる.
		3週	技術表現2	英語の技術用語を用い，内容を説明できる.
		4週	専門分野の英語表記	数字，数式に関する英語表記ができる.
		5週	技術表現3	英語の技術用語を用い，内容を説明できる.
		6週	技術表現4	英語の技術用語を用い，内容を説明できる.
		7週	専門分野の英語表記	数字，数式に関する英語表記ができる.
		8週	上記内容のまとめ	技術用語，技術文章を理解して表現できる.
	2ndQ	9週	技術文章の読解1	英語による技術用語を理解し，読解できる.
		10週	技術文章の読解2	英語による技術用語を理解し，読解できる.
		11週	技術文章の読解3	英語による技術用語を理解し，読解できる.
		12週	技術文章の読解4	英語による技術用語を理解し，読解できる.
		13週	技術文章の基礎1	英語技術文章のタイトルを表現できる.
		14週	技術文章の基礎2	英語技術文章を考えて，表現できる.
		15週	期末試験	
		16週	テスト返却と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	4	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	4	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	4	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	4	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	20	0	0	0	10	0	30
専門的能力	40	0	0	0	20	0	60
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10